

## やいはじめないと やる気は出ません。

池谷裕二（脳科学者）

（『ほぼ日の就職論 はたらきたい。』より）

### □今週末3年生第一回の模試が実施されます。

今週の土曜日、100名を越える人が模擬テストを受験します。時間とお金をかけて受験するのですから、ぜひ有意義な機会としてほしいと思います。

### □模擬テストは3度解く！

一般的に、模擬テストは3度解け！、といます。模試当日が1回目、模試の結果が帰ってきたときが2回目（実はこれが一番大切！）、そして受験本番直前に3回目。単にできた、できないではなく、自分の弱点を見つけ、無くすきっかけとして有効利用してください。

### □模擬試験は、本番ではありません。

模擬試験は、あくまで「模擬」であり、「本番」ではありません。今、A判定やB判定が出なくても、本番でその入試での合格最低点以上をとれば合格することができます。結果に一喜一憂せず、まだ勉強できていないのだから悪くて当たり前、不正解であっても、「わからないところが見つかってよかった」という気持ちで、自分の現在の力を冷静に見つめる機会としましょう。不正解であったところを、次は間違えないようにする努力が大切です。

### □解答をじっくり読む。

そのために、具体的にどうするべきなのでしょう？ それは、自分の解答が正解不正解にかかわらず、該当の問題と解答の解説をじっくりと読み込むことです。そして、間違ったところをノートにまとめてみたり、覚えるべき内容を何回も紙に書いたり、何回も言葉に出して言ってみたりする。頭で覚えるのではなく、カラダで身につけることが大切です。それぞれが、自分にあった勉強方法を見つけましょう。そんな地道な努力の積み重ねが、唯一の実力をつけるための方法です。

### □自己採点は、とても重要です。

本番のセンター試験では、受験に関係する時期に自分の点数を通知してはくれません。どこの大学を受験するのかなど、すべて自己採点の点数をもとに考えていくことになります。そのため、実際の点数と自己採点の点数が違っていると、大変困ったことになります。練習をしていないと、意外に間違えるものです。模擬試験の機会を利用して、しっかりと自分の点数を把握する練習をしておいてください。

### □やりはじめないとやる気は出ません。

どのような進路をとるにしても、とにかく自分から動き始めなければやる気は出ません。始めなければ、何をすればよいのかもわからず、何の準備もしないままに時間だけがたってしまいます。そして、実際の入試や面接試験の日を迎えてしまうと、「こんなはずではなかった」という後悔ばかりが残ります。どのような進路をとるにしても、最後に問われるのは、高校時代・学生時代にどれだけ実力をつけていたのか、ということです。時々、専門学校や大学に進学した人、あるいは就職した人から、「なぜ、高校時代にもっと勉強しろと言ってくれなかったのか」と言われることがあります(言ってたと思うのですがね)。必要になったとき、自分にその力が備わっているのか。あるいはその力を身につけるだけの基礎ができているのか。たぶんみなさんが自分で思っている以上に、今はとても大事な時期です。課題はそれぞれだと思います。まず、やりはじめてください。